日本水環境学会 九州沖縄支部会員各位

日本水環境学会 九州沖縄支部長　高見 徹

日本水環境学会九州沖縄支部 2026年度「学術賞」・「水環境貢献賞」・
「学術奨励賞」および「功労賞」の受賞候補者の推薦について

2026年度の日本水環境学会九州沖縄支部「学術賞」・「水環境貢献賞」・「学術奨励賞」および「功労賞」の受賞候補者を募集します。これらの賞には、九州沖縄支部表彰規定により、支部会員による推薦制度も設けられています。そのため、会員の皆様には、各賞の受賞候補者について数多くの推薦をお願いします。各賞と推薦書類の内容は以下の通りです。

記

「学術賞」： 水環境に関する学術的研究成果が特に優れた個人に贈呈します。

１．被推薦資格：本支部会員であること

２．提出書類：

①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴など
②対象となる研究成果
③推薦理由（500 字以内）
④参考資料など
⑤推薦者の氏名、住所、所属

「水環境貢献賞」： 水環境の保全・創造に関する社会活動・文化活動が特に顕著である団体または個人に本賞を贈呈するとともに、金5万円を副賞として授与します。
します。また、九州沖縄支部は、表彰された団体について、その実績や今後の取り組み予定などを勘案し、次年度の日本水環境学会【水環境文化賞】に支部推薦することも検討します。

１．被推薦資格：特に制限はありません

２．提出書類：

①被推薦団体または個人の氏名、住所、所属、略歴など
②対象となる内容
③推薦理由（500 字以内）
④参考資料など
⑤推薦者の氏名、住所、所属

「学術奨励賞」： 水環境に関する学術的研究成果が特に優れ、将来の活躍が期待される満 40 歳未満の個人に贈呈します。

１．被推薦資格：本支部会員であること

２．提出書類：

①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴など

②対象となる研究成果

③推薦理由（500 字以内）

④参考資料など

⑤推薦者の氏名、住所、所属

「功労賞」： 本支部の運営活動に著しく貢献した団体または個人に贈呈します。

１．被推薦資格：特に制限はありません

２．提出書類：

①被推薦団体または個人の氏名、住所、所属、略歴など

②対象となる内容

③推薦理由（500 字以内）

④参考資料など

⑤推薦者の氏名、住所、所属

それぞれの賞についての提出書類の書式等は自由とします。参考資料等が不足している場合は事務局より、再度提出を依頼する場合があります。

提出期限：1月末日

提出先・問合せ先：〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの1-1
北九州市立大学国際環境工学部（日本水環境学会 九州沖縄支部表彰委員長） 安井英斉
Tel 093-695-3736 Fax 093-695-3389
Email: hidenari-yasui@kitakyu-u.ac.jp

今までの表彰者は、次の方々です。

■ 学術賞

2015 年度：鈴木祥広（宮崎大学工学部）
「宮崎の水環境における薬剤耐性菌の存在実態に関する調査・研究」
2012 年度：藤井暁彦（(一財)九州環境管理協会）
「アサリの生態・生活史の解明ならびにアサリ資源の保全策に関する定量評価」
2005 年度：中嶋雅孝（(一財）九州環境管理協会）
「有明海における冬季の海苔及び赤潮プランクトンの増殖特性」
2003 年度：門上希和夫（北九州市環境科学研究所）
「水環境中有害化学物質の分析法の開発および環境調査に関する研究」
2002 年度：中牟田啓子（福岡市保健環境研究所）
「地下水汚染機構解明のための高感度分析法開発に関する研究」
2001 年度：小田泰史 （熊本県保健環境科学研究所 水質部）
「底生動物相を指標とする河川の水環境評価に関する研究」
2000 年度：松原英隆（福岡市保健環境研究所）
「水中有機物の構造と塩素処理生成物に関する研究」
1999 年度：徳永隆司（福岡県保健環境研究所）
「河川・地下水の従属栄養細菌群の動態と有効利用に関する研究」
1998 年度：赤木洋勝（国立水俣総合研究センター・国際総合研究部・部長）
「水銀および水銀化合物の水環境中動態に関する研究」
1997 年度：山田真知子（北九州市環境科学研究所アクア研究センター・主査）
「閉鎖性海域の生態学的調査および環境修復法」

■ 功労賞

2024 年度：古賀実（水俣環境アカデミア）
2021 年度（特別功労賞）：高梨啓和（鹿児島大学大学院理工学研究科）
2015 年度：宮城俊彦 （元沖縄県衛生環境研究所）
2004 年度：松永雄二 （(株)新日本環境コンサルタント）
2003 年度：北森成治 （福岡県保健環境研究所）
2003 年度：久保清 （元熊本県保健環境科学研究所）（(一財)九州環境管理協会）

■ 学術奨励賞

2022 年度：古閑豊和（福岡県保健環境研究所）
「環境中の有機汚染物質ターゲットスクリーニングと生物応答試験に関する研究」
2020 年度：柏原学（福岡県保健環境研究所）
「季別運転を行う下水処理場放流水に含まれる栄養塩類の動態に関する研究」
2015 年度：古川隼士（国立高専機構大分高専）
「大分川におけるふん便性汚染に関する細菌学的調査」
2012 年度：中島淳（福岡県保健環境研究所）
「九州北部の淡水魚類を用いた平均スコア法による水環境健全性評価法に関する研究」
2011 年度：内田雅也（熊本県立大学大学院・(株)エコジェノミクス）
「アミ DNA マイクロアレイを用いた DDT の生態影響評価」
2007 年度：鬼倉徳雄 （九州大学大学院農学研究院）
「有明海沿岸域のクリークにおける淡水魚類の生息の有無・生息密度とクリークの護岸形状との関係」
2005 年度：韓連熙 （九州大学大学院薬学研究院学術研究員）
「A kinetic study of enhancing effect by phenolic compounds on the hydroxyl radical generation during ozonation」
2005 年度：熊谷博史 （福岡県保健環境研究所）
「優占種二枚貝ホトトギスガイが博多湾奥水質に与える影響に関する研究」
2002 年度：鈴木祥広 （宮崎大学工学部）
「タンパク質を用いた泡沫分離法による汚濁排水からの懸濁物除去に関する研究」
2002 年度：石橋融子 （福岡県保健環境研究所）

「面源負荷による地下水汚染の機構解明並びにシュロガヤツリ等を用いた水環境改善手法の開発」
2001 年度：山西博幸（佐賀大学低平地研究センター）
「北川干潮部における水質変動と希少生物・カワスナガニの生息環境に関する調査研究」
2001 年度：石橋弘志（長崎大学大学院生産科学研究科）
「バイオマーカーを用いた魚類生息環境の評価に関する研究」

■ 水環境貢献賞

2025 年度：ウエットランドフォーラム（代表　松本悟）
「都市の中の干潟のワイズユース」
2025 年度：豊の国海幸山幸ネット（代表　原賀いずみ）
「英彦山神宮禊場姥が懐の景観保全の 20 年とこれから」
2021 年度：（特非）海の再生ネットワークよろん（代表 田畑克夫）
「与論島サンゴ礁保全への取り組み」
2019 年度：（特非）日本環境監視協会 （代表 山﨑惟義）
「博多湾をはじめとする調査・研究ならびに市民の意識を身近な水環境保全に向ける取り組み」
2017 年度：阿蘇ホタルの会 （代表 湯浅睦雄）
「くまもとの水とみどりの保全にかかる啓発・助成と実践活動」
2016 年度：（公財）肥後の水とみどりの愛護基金（理事長 甲斐隆博）
「くまもとの水とみどりの保全にかかる啓発・助成と実践活動」
2015 年度：自然と暮らしを考える研究会（佐賀水ネット会員）（代表 石盛信行）
「唐津市町切地域の水文化を活用した環境教育支援活動」
2014 年度：宮崎県都城工業高等学校化学技術部（顧問 宇賀村心是）
「都城地区河川水質改善プロジェクトでの水質検査」
2013 年度：（特非）大淀川流域ネットワーク （代表 杉尾哲）
「宮崎県独自の五感を使った水辺環境指標調査の普及活動」
2012 年度：大野川流域ネットワーク （代表 幸野敏治）
「川づくり・地域づくりシンポジウム河川の源流碑設置とクリーンアップ活動」
2011 年度：紫川を愛する会（代表 葉山隆）
2009 年度：フィールドウォッチ研究所（代表 青木宣人）
2008 年度：（公財）タカミヤマリバー環境保護財団（代表 橋本潤）
2008 年度：つやざき海辺の自然学校（代表 板谷晋嗣）
2007：ふくおか湿地保全研究会（代表 服部卓郎）
2005 年度：福岡県立北九州高校 （顧問 井上大輔）
「北部九州の水路やため池での魚類・水生昆虫の調査および環境啓発活動」
2005 年度：熊本県立球磨工業高校「建設工学科」（顧問 吉田秀樹）
「人吉・球磨地域に発生する霧についての謎の解明に関する研究活動」
2004 年度：（特非）宮崎野生動物研究会 （代表 竹下完）
「宮崎県のアカウミガメの生体調査、自然環境の保護と啓発、および環境教育事業」
2004 年度：（特非）はかた夢松原の会 （代表 川口道子）
「市民活動をとおした水環境の改善」
2002 年度：福岡高等学校化学部 （顧問 高木広爾）
「河川水の浄化方法とその浄化能力に関する研究」
2002 年度：明善高等学校 （校長 今村八洋）
「「水」を通して生活（くらし）を見つめる活動」
2000 年度：アジア砒素ネットワーク（会長 上野登）
「砒素汚染に関する国際援助活動」
2000 年度：株式会社トランスジェニック（社長 井出剛）
「次世代型モノクロナール抗体作製技術の開発」
1999 年度：西南女学院高等学校化学部（顧問 上原加瑞子）
「北九州における海産マキガイの生殖器異常に関する研究」
1999 年度：大分県杵築市カブトガニを愛する会（会長 工藤弘太郎）
「大分県杵築市を中心とした水環境保全と自然環境教育および各種講演会開催などの社会・文化活動」

1998 年度：宇根豊（福岡県農業大学校）
「環境稲作の実践と理論化」
1997 年度：江津湖研究会（会長 椛田聖孝）